

北海道大学シラバス					
<div> <div></div> <div>科目名</div> </div>					
社会調査法					
<div> <div></div> <div>講義題目</div> </div>					
<div> <div></div> <div>責任教員（所属）</div> </div>					
張 ジュヒョク（大学院メディア・コミュニケーション研究院）					
<div> <div></div> <div>担当教員（所属）</div> </div>					
田邊 鉄（情報基盤センター） 上田 裕文（大学院メディア・コミュニケーション研究院） 張 ジュヒョク（大学院メディア・コミュニケーション研究院） 天田 顕徳（大学院メディア・コミュニケーション研究院） 于 海春（大学院メディア・コミュニケーション研究院）					
<div> <div></div> <div>科目種別</div> </div>				<div> <div></div> <div>他学部履修等の可否</div> </div>	可
<div> <div></div> <div>開講年度</div> </div>	2025	<div> <div></div> <div>期間</div> </div>	1 学期（春ターム）	<div> <div></div> <div>時間割番号</div> </div>	083202
<div> <div></div> <div>授業形態</div> </div>		<div> <div></div> <div>単位数</div> </div>	1	<div> <div></div> <div>対象年次</div> </div>	1～
<div> <div></div> <div>対象学科・クラス</div> </div>	国際広報メディア・観光学専攻			<div> <div></div> <div>補足事項</div> </div>	
<div> <div></div> <div>ナンバリングコード</div> </div>	IMC_MCTS 5100				
<div> <div></div> <div>大分類コード</div> </div>	<div> <div></div> <div>大分類名称</div> </div>				
IMC_MCTS	国際広報メディア・観光学院(国際広報メディア・観光学専攻)				
<div> <div></div> <div>レベルコード</div> </div>	<div> <div></div> <div>レベル</div> </div>				
5	大学院（修士・専門職）専門科目（基礎的な内容の科目）、大学院共通授業科目				
<div> <div></div> <div>中分類コード</div> </div>	<div> <div></div> <div>中分類名称</div> </div>				
1	共通科目				
<div> <div></div> <div>小分類コード</div> </div>	<div> <div></div> <div>小分類名称</div> </div>				
0	基礎共通科目				
<div> <div></div> <div>言語</div> </div>					
日本語で行う授業					
<div> <div></div> <div>実務経験のある教員等による授業科目</div> </div>					

キーワード

社会調査、インタビュー、参与観察、フィールドワーク、エスノグラフ、まちづくり、地域づくり、公共人類学、企業、インターネット技術、マルチメディア技術、社会学、人類学、観光学、宗教学、生活文化、環境問題、地域社会、理論と仮説、研究類型、データの記述、データからの推測、検定、相関、単回帰、重回帰

授業の目標

この授業では、「人間とその行動」を対象とする観光、広報メディア、コミュニケーション、言語教育などの学問領域で必要とされる定性的および定量的研究の基礎を習得することを目指す。まず、質的社会調査の基本概念を理解し、フィールドワークを含む定性的データの収集・分析・活用プロセスを学ぶことで、具体的な研究対象に対して社会調査を実施するために必要な知識と技術を身につける。また、研究論文を理解するための方法論を学びながら、定量的なデータ分析の基礎を実践的に身につける。

到達目標

この授業では、以下の目標を達成することを到達目標とする。

- ①社会調査法の基本概念を理解し、社会調査のプロセスを把握して、適切な先行研究の調査を通じて自らの研究計画を立案し、実践できるようになる。
- ②質的データの収集・分析・利用・保存に関する技法を理解し、修士論文研究において社会調査を有効に実施し活用できるようになる。
- ③平均の差や変数間の関連性を分析し、母集団における関連や影響を検討できるようになる。

授業計画

この授業は、前半4回分は定性調査、後半4回分は定量調査に関する内容を取り扱う。

- ① 観光まちづくりにおける質的研究（上田裕文、4/10）
観光まちづくりにおける質的研究のデザインとプロセスについて学ぶ。
- ②観光地における地域イメージの分析（上田裕文、4/17）
地域における空間認識や、場所のイメージ形成について、その調査手法と分析手法を学ぶ。
- ③フィールドワークと民族誌（天田顕徳、4/24）
民族学および民俗学の歴史を概観しながら、研究方法としての「フィールドワーク」や「民族誌」の特性や課題について学ぶ
- ④マルチメディア技術を用いた社会調査（田邊鉄、5/1）
質的データの収集・利用・保存について、インターネット技術・マルチメディア技術の変化を視野に入れて検討する。
- ⑤統計基礎と記述統計（于海春、5/8）
帰無仮説、対立仮説、記述統計量、有意確率など、定量研究の基礎概念について学ぶ。また、量的データの特徴をまとめる記述統計の標準的方法と、母集団の特徴を標本の観測データから推論する推測統計の基本的仕組みを学ぶ。具体的には、代表値、散布度、正規分布、母集団とサンプリング、統計的検定の手続き等が講義される。
- ⑥検定（于海春、5/15）
2群間の平均の差の検討方法（t検定）を学習し、母集団における関連や影響を検討する方法を学ぶ。
- ⑦分散分析と相関分析（張ジュヒョク、5/23）
3群間以上の平均の差の検討方法（分散分析）を学習し、母集団における関連や影響を検討する方法を学ぶ。なお、変数間の線形関係を確認する方法である相関分析について学ぶ。
- ⑧回帰分析（張ジュヒョク、5/30）
独立変数が従属変数へ及ぼす影響を確認する回帰分析について学ぶ。具体的には、単回帰分析、重回帰分析等が講義される。

準備学習(予習・復習)等の内容と分量

各回の講義テーマに応じて、各担当者教員が受講者に読むべき参考文献・資料をアナウンスするので、必要に応じて予習・復習を行うこと。

成績評価の基準と方法

- ※ 全8回の授業で各担当教員が課す小課題によって評価を行う（12.5点×8回＝100点）。
- ※ 小課題の内容および提出方法については、各回の担当教員が指示する。
- ※ 授業を欠席した場合は、各担当教員の指示に従うこと。

有する実務経験と授業への活用

他学部履修の条件

テキスト・教科書

各担当教員が、資料やPDFを事前にMoodleで配布する予定 Each instructor plans to distribute materials and PDFs in advance via Moodle.

講義指定図書

[心理学・社会科学研究のための調査系論文の読み方 / 脇田貴文・浦上昌則 : 東京図書, 2011, ISBN:9784489020384](#)

■ ■ 参照ホームページ

■ ■ 研究室のホームページ

■ ■ 備考

■ ■ 更新日時

2025/01/27 22:04:41

■ ■ 授業実施方式

対面授業科目《対面のみ》